

CONFIDENTIAL



生ごみ処理機のご紹介

株式会社バイオストック

会社名	株式会社ビオストック
本社所在地	北海道帯広市東2条南4丁目10番地
代表取締役社長	熊谷 智孝
設立日	2020年7月1日
事業内容	メタン発酵バイオガス関連事業 資源循環事業 上記に関連するその他事業
株主構成	NTT東日本株式会社 バイオマスリサーチ株式会社
拠点情報	帯広本社 〒080-0802 北海道帯広市東2条南4丁目10番地 札幌支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西14丁目7番地 大通14丁目ビル11階 東京支社 〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2 NTT東日本本社ビル 高崎支社 (バイオガスプラント高崎) 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町3210-1 NTT東日本 群馬物流センタ

食品残さを活用して
脱炭素につながる
取組がしたい



産業廃棄物として
生ごみの処理にかかる
高いコストを低減したい



食品残さの
焼却や**運搬**にかかる
環境負荷を低減したい



✓ 生ごみを微生物の力で分解し、処理をする装置

⇒ 水と炭酸ガスへ分解するのが【消滅型】、堆肥の元となる一次発酵物を製造するのが【堆肥型】

✓ 導入することで、廃棄物処理に係るコストや、焼却・収集運搬に係るCO₂排出量の削減が可能

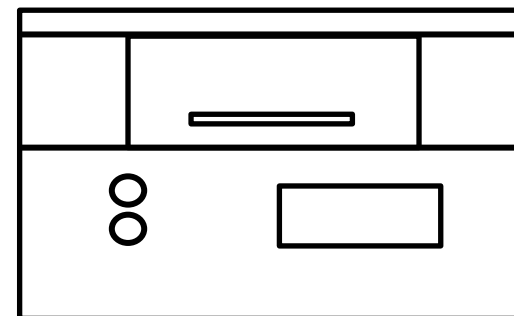
✓ 投入できる生ごみは、基本的に人が食べられるもののみ



消滅型生ごみ処理機



水（排水）と炭酸ガス



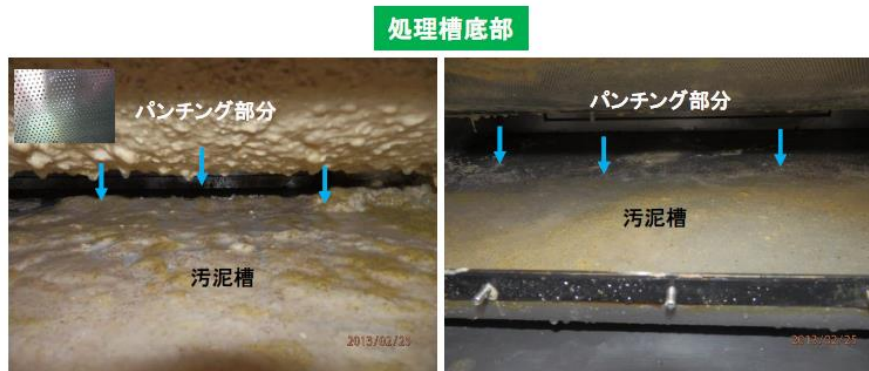
堆肥型生ごみ処理機



一次発酵物

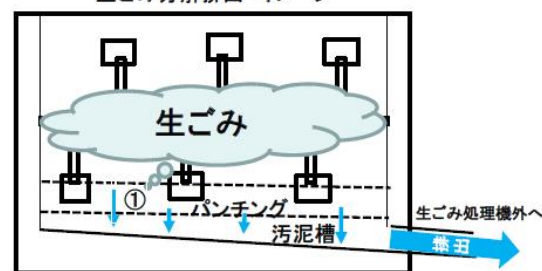
消滅型生ごみ処理機について

- ✓ 微生物の分解作用を利用し、生ごみを水と炭酸ガスに分解して処理。処理物は排水のみ
- ✓ 投入量は処理能力と同等（1回あたりの推奨投入量は処理能力の1/3）
- ✓ 電気や給排水工事が必要
- ✓ 食品製造業（カット野菜工場、コンビニ加工工場、食品加工所）、小売業（スーパーマーケット、大型百貨店）教育機関（保育園、短大学）、給食センターなど、全国地域への導入実績がございます。※提携事業者による設置



食材により分解液の状態に違いが見えます

生ごみ分解排出 イメージ



パンチング穴1.5mmから分解液が排出されます。一部攪拌ヘラで押し出される汚泥も排出されます。（粉物などは分解される前に排出される）

消滅型生ごみ処理機 ラインナップ°

項目		単位	EX-50J	EX-100J	EX-200J	EX-300J	EX-500J	EX-750J	EX-1000J
最大処理能力		kg/日	50	100	200	300	500	750	1,000
処理能力		kg/回	1回あたりの推奨投入量は1日の最大処理量の1/3						
寸法	幅	mm	830	1,136	1,504	1,562	1,892	2,032	2,610
	奥行	mm	574	654	828	998	1,138	1,570	1,450
	高さ	mm	1,047	1,130	1,110	1,362	1,500	1,905	1,712
重量		kg	154	230	360	464	760	1,180	1,590
電源			100V 50/60Hz			200V 50/60Hz			
最大消費電力		W	430	580	1,130	1,530	3,130	3,730	3,730
使用電力		kWh/日	2.64	3.36	6.00	7.92	12.70	18.48	18.48
給水管径		A	15						
排水管径		A	40	50	50	65	80	80~120	80~120
水使用量		L/日	245	403	648	936	1,152	1,440	2,016

○残渣量に応じたラインナップあり、一日の残渣量に応じて、選択可能です。

○屋内・屋外問わず、設置可能です。

○オプション設備のご相談も可能です。（反転リフターやスクルーコンベアなど投入方法に応じて対応が可能です）

○サイズ、外観等は予告なく変更する場合があります

✓ 買取またはリース契約が可能

契約内容

初期費用：機器

- 消滅型生ごみ処理機 本体
- 自動破袋分別機（オプション）
- 自動搬送装置（オプション）

初期費用：設置作業

- 機器搬入費
- 設置作業費
- 設備接続作業費
- 試験調整費

維持費用：保守

- 故障修理（現地対応）
- 定期点検（故障予防措置）
※4回/年程度
- 消滅促進剤の提供

----- お客様にてご用意いただくもの ※契約の対象外 -----

- 設置スペース
- 電源設備（三相AC200V 60Hz/50Hz）
- 上下水道設備
- 土木・建築工事

STEP

01

ヒアリング・現地調査の実施

- 処理量に応じた機種選定のための情報収集
- ごみ排出量、施設規模、設置環境などを確認。必要に応じて現地調査を実施



STEP

02

機種選定・見積・構成案作成

- 処理量・設置条件に応じた機種を選定し、構成案と見積書を作成



STEP

03

契約・製造・納品準備

- 契約締結後、製造開始（納期は機種により異なる）
- 必要に応じてお客様敷地内にて、土木・排水・電気工事等を実施



STEP

04

設置・試運転・運用開始

- 機器設置後、試運転と操作説明を行い、運転開始
- 運用開始後の保守対応

- ✓ 原料の種類・量などにより、導入費用などは異なります。
- ✓ ご相談をご希望の方は、下記情報をご準備いただき、会社HPお問い合わせフォームまたはメールよりお問い合わせください。
- ✓ **堆肥型生ごみ処理機のお取り扱いもございますので、ご希望の方はご相談ください。**

＜ご準備いただきたい情報＞

1. 企業名、導入予定地の名称・住所等
2. 原料となる有機性廃棄物の種類 （例） ●●の製品廃棄、●●の加工残渣
3. 原料となる有機性廃棄物の量 （例） 2t/日（2.の種類別で記載ください）
4. 現状の廃棄物処理手法・コスト （例） 外部委託（焼却）処理費●円/kg
5. 堆肥型/消滅型の希望
6. 導入予定時期

＜お問い合わせ先＞

株式会社ビオストックHP内 お問い合わせフォーム

または メール：info@biostock.co.jp

- ✓ 種類により、分解に適さない残渣もございます

分解できるもの	分解に時間を要するもの 一部分のみ分解するもの	分解できないもの
野菜、果物 肉、魚介類 ご飯、パン、麺類 等	繊維質の多い野菜 魚の骨（小魚） 単一原料のみ	貝類 家畜等の骨 大きな魚の骨 食品以外